

フィデューシャリー・デューティーに関する方針

日本マリタイムバンク（以下、「当社」といいます。）は、「顧客本位の業務運営に関する原則」に関し、すべての原則を採択し、「フィデューシャリー・デューティーに関する方針」を定めます。当社は、本方針に基づき、お客様本位の商品・サービスの提供に向けた取組みを進めてまいります。

原則 1. フィデューシャリー・デューティーに関する方針の策定・公表等

当社は、投資家本位の業務運営を実現するための方針を策定・公表するとともに、当該方針に関わる取組状況を定期的に確認し、必要に応じ見直しを行います。

原則 2. 投資家の最善の利益の追求

当社は、役職員全員がプロフェッショナルとして自己研鑽に励み続け、高度の専門性と職業倫理を保持し、お客様に対して誠実・公正に業務を行い、お客様の最善の利益を図ります。

原則 3. 利益相反の適切な管理

当社は、利益相反が発生するおそれのある取引を特定するとともに、利益相反の発生を防止するための管理体制を構築しています。

お客様の利益が不当に害されることのないよう、適切な管理を行い、お客様の信頼に応えてまいります。

原則 4. 手数料等の明確化

当社は、名目を問わず、お客様が負担する手数料その他の費用の詳細を、契約締結前交付書面や当社ウェブサイト上で情報提供を行い、お客様に安心してご利用いただけるよう努めます。

原則 5. 重要な情報の分かりやすい提供

当社は、お客様の投資判断に役立つよう、商品の特性、リスク等の重要な情報を、当社ウェブサイト上の個別商品ページ、契約締結前交付書面において網羅的かつ精密な情報提供を行うことにより、正確にその商品の性質やリスクについて理解していただけるよう工夫を行います。

原則 6. 投資家にふさわしいサービスの提供

当社は、お客様の資産状況、取引経験、知識及び取引目的・ニーズを適切に把握し、お客様にふさわしいサービスの提供に努めます。

原則 7. 役職員に対する適切な動機づけの枠組み等

当社は、上記の行動原則の社内周知を徹底します。役職員がこれらを指針として日々の事業活動を行うことを通じて当社の企業文化の醸成を図ります。これによりお客様の利益最善化の実現と継続を目指します。